

令和5年度 第3回三次市地域公共交通会議 議事要旨

1. 開催概要

日 時：令和5年8月28日（月）16時00分～16時50分

場 所：三次市役所本庁舎3階 危機管理課前会議室

出席者：

[会長] 三次市 副市長 細美 健

[委員]

三次市地域振興部 矢野 美由紀	備北交通株式会社 實兼 利光
十番交通有限会社 有木 好文	三次みどりタクシー株式会社 石田 光雄
私鉄中国地方労働組合備北交通支部 長谷川 和宏	粟屋町 中野 和彦
君田町 今本 豊	甲奴町 畠 真樹子
三次商工会議所 竹本 勇夫	三次広域商工会 中宗 久之
中国運輸局広島運輸支局 中井 孝司	広島県地域政策局交通対策担当 吉田 悠輝（代理）
三次市建設部 加藤 信司	米子工業高等専門学校 加藤 博和

[オブザーバー]

西日本旅客鉄道株式会社中国統括本部 広島支社 地域交通課長 山口 晃弘

西日本旅客鉄道株式会社三次鉄道部部长 福永 修二

2. 会議次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 報告事項

- (1) 三次市地域公共交通会議役員の交代について
 - ・担当副市長の就任に伴う役員（会長）の交代
- (2) 大阪方面高速バスの三次駅への乗り入れについて
- (3) 市民バス甲奴町線（甲奴ー吉舎）について
- (4) 芸備線deカープ応援！事業（芸備線対策協議会利用促進事業）について

4 協議事項

- (1) 三次市地域公共交通会議委員について
 - ・鉄道事業者の構成委員の委嘱の承諾及び要綱の一部改正
- (2) 「バス&レールどっちも割きっぷ」の販売延長について

5 その他

6 閉会

3. 議 事

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 報告事項

<事務局より、報告事項(1)「三次市地域公共交通会議役員の交代について」を説明>

<事務局より、報告事項(2)「大阪方面高速バスの三次駅への乗り入れについて」を説明>

(長谷川委員)

これまでは、三次インターの大阪方面では乗車のみ、浜田方面は降車のみとなっているが、それは変わらないのか。

(實兼委員)

そのまま変わらない。尚、行きの乗り場は3番ホームとなる。

(加藤委員)

非常に喜ばしいが、運賃に変更は無いのか。また、阪急観光バスが廃止申請したとのことだが、中国バスは今後復活の可能性はあるのか。それから、三次市として要望した結果とのことなので、運行開始後に利用促進やPRで定着を図り、その結果として増便もできれば尚良いと思うが、今後のフォロー等は考えられているのか。

(事務局)

運賃についてホームページで確認したところ“3,500円から”となっている。これは、ネット予約が原則であり、時期により異なって往復割引等があるためで、以前の中国バスのような定額表示ではない。

また、中国バスに大阪行きのバスについてお伺いしたところ、再開は難しいというお話であった。再開見込みが無いという中で、今回中国ジェイアールバスに要望を行った。バックアップとして、定例記者会見で報道関係に周知したが、更に改めて10月の広報紙でも周知したい。便数については、今後利用者が増えることになれば検討していただけるのではないかと期待している。

(加藤委員)

三次市の方にPRするのは当然かと思うが、以前の三次ワインライナーも三次市周辺の方や他地域からの帰省客に利用されていたので、今回も例えば県外のネットワークにも何らかの形でPRされたら良いと思う。可能であればお願いしたい。

<事務局より、報告事項(3)「市民バス甲奴町線（甲奴－吉舎）について」を説明>

（島委員）

利用が少ないが、利用者の年代はどれくらいなのか。

（事務局）

甲奴タクシーに確認したところ、ほぼ高齢者とのことである。また社会福祉法人あらくさの身体障害者手帳をお持ちの方の利用もある。利用方法としては主に三次中央病院への移動、また中央図書館への利用もあった。利用の多くは、新規ではなくリピーターであり、17人のうちでも同じ人に何度か使われる傾向とのことであった。

（加藤委員）

利用者数が以前に比べて減っている気がする。そのため別の手段に移られたと推測するが、利用方法等について支所や定住対策・暮らし支援課に問い合わせ等はないか。

（事務局）

定住対策・暮らし支援課への問い合わせは無い。利用人数について単純比較は難しいが、昨年度の7月では甲奴から出かけた方は24人、三次の中心部からの利用は21人であった。人数はまだまだ少ないため、周知や乗り方等を含めて広げていく必要があると認識している。

（甲奴支所）

支所には、甲奴町や三次市以外の住民も利用できるのか、といった問い合わせが何件かあった。登録すれば利用できると回答している。

（加藤委員）

地域と行政、業者が連携して繋がれば広がっていくと思う。引き続きフォローアップをお願いする。

<事務局より、報告事項(4)「芸備線 de カーブ応援！事業（芸備線対策協議会利用促進事業）について」を説明>

4. 協議事項

<事務局より、協議事項(1)「三次市地域公共交通会議委員について」を説明>

（会長）

ご意見、ご質問等あればお願いしたい。

（一同）

異議なし

(会長)

それでは第3条については改正させていただくこととする。また、山口委員についても承認いただけるということでよろしいか。

(一同)

異議なし

(会長)

承認を得たということで、よろしく願います。

(山口委員)

これまで弊社はオブザーバーとして参加させていただいた。芸備線についても、利用促進の取組等、三次市には多大なバックアップをいただいた。感謝申しあげる。

この地域公共交通会議の根拠法である活性化再生法が10月に改正され、鉄道もクローズアップされている。関係者の「連携と協働」は今回の法改正の主旨である。交通事業者として受け止めて、取り組んでいかなければならない。委員として、公共交通事業者としての役割をしっかりと果たせるよう、深い議論をする場での一助になればと思っている。

特に芸備線と福塩線については災害やコロナ禍の影響もあり、利用が大きく減少している。災害前までに戻すにはまだまだである。本日はカープ応援事業や、どちらも割きっぷ等、芸備線関連の議題も多い。皆様のバックアップをいただきながら、私共もご利用増に繋げるよう取り組みたい。これからも「連携と協働」をモットーに図っていきたい。

また、日頃のご要望は三次鉄道部まで、今後もよろしく願いたい。

<事務局より、協議事項(2)「バス&レールどちらも割きっぷ」の販売延長について」を説明>

(實兼委員)

元々は公共交通の利用促進を旗印にスタートしたものであるが、実際にはコロナ禍で激減した利用者の利用促進のためにこの運賃設定とした。問い合わせ等を聞いた感覚としては、新たなお客様の利用が増えたようである。三次地区への定期的な帰省を自家用車で行っていたが、こちらに転換してみると良かった、といった声も聞く。また、若年層の利用にも呼び水になっているようである。公共交通の利用促進のために、こうしたシステムがあっても良いのではないかと、手段として適当なのではないかということで提案した。よろしく願いたい。

(加藤委員)

アンケートをとられていたかと思う。そのデータが集まれば次の施策に繋がる。細かいデータがあれば、また願いたい。

オプション券が付いているが、こちらの利用状況はどうなっているか。三次-広島の間のみならず、ワイナリーやもののけミュージアムの利用、またタクシー利用等に波及していれば尚良い。

(實兼委員)

オプション券は7月までで100枚利用されている。観光を目的に使われる方にとって200円なら支払っても良いと思われている、ということで効果はあったと考えている。

(加藤委員)

100人がバスを利用されたということで、効果はあったといえよう。更に足を延ばしてもらいうことも仕掛けがあれば良い。

(石田委員)

この販売実績は三次駅と広島駅を合わせたものなのか。どういった割合になっているのか。

(事務局)

実績は2駅を合わせた結果であり、うち三次駅が7割近くとなっている。

(石田委員)

タクシーも三次からほぼ毎日利用がある。良い制度と思うのでぜひ続けてほしい。

(實兼委員)

三次で販売した券はバスに先に乗ってから列車に乗られる、広島で販売した券では列車で来てバスに乗られる傾向となっているので、広島から来られた方がタクシーを利用されていると思う。

(事務局)

広島駅では高速バス乗り場の案内所で販売されており、そこで買われるとJR利用が多いかと思う。ずいぶん周知も広がって広島での販売も増えている。

オプション券の実績については次回の交通会議までに情報提供させていただく。

(会長)

他にご意見等無いようであればご承認いただくということで異議はないか。

(一同)

異議なし

6. その他

(加藤委員)

芸備線についてのお話が本日2つあったが、福塩線については何か取組を予定されているのか。以前はワイン列車があった。今回のどっちも割きつぶのように、福塩線の振興も何か企画されるのか。

また、例年10月の鉄道の日に合わせてイベント等を実施されているが、今年も企画があれば教えて

欲しい。

(事務局)

福塩線では例年ワイン列車を走らせていたが、今年度は地域資源を活用して体験ができるものとセットにしたツアーを企画されている。またサイクルトレインを、昨年度は福塩線で3回、芸備線は1回実証されたが、福塩線では今年度も行う予定である。

芸備線では、一昨年に広島駅北口でマルシェを貨客混載で実施したが、そういったおもてなしイベントを行う計画である。サイクルトレインも実施予定である。

主な事業としては以上である。

(加藤委員)

三次高校で、高校生がチラシを作るなどの取組をされていたが、今はどんな状況なのか。

(事務局)

三次高校の生徒による芸備線利用促進のプロジェクトが3年目に入る。今年も学校から積極的にご提案いただいている。昨年度は3つ折りのパンフレットを作成いただき、高校生の目線での芸備線・福塩線の良さを発信してもらった。

今年は動画を作成されている。YouTubeであるが、これをベースにしてインスタグラムにもアップしていきたいということで、高校生の視点で作っていただいている。完成次第、市HPや芸備線対策協議会のHPにも貼り付けて紹介したい。ぜひ応援をお願いしたい。

7. 閉 会

以 上